

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870700192		
法人名	株式会社 ユニマツトそよ風		
事業所名	結城ケアセンターそよ風	ユニット名	ばらユニット
所在地	〒307-0001 茨城県結城市結城923-1		
自己評価作成日	平成26年4月10日	評価結果 市町村受理日	平成26年12月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0870700192-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年6月18日	評価機関 決 済 日	平成26年12月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者様の『自分らしく』を大切に受け止め、やりたい事・出来ることが継続して日常生活が送れるよう支援に取り組んでおります。また、地域の一人として地域情報を収集し積極的に参加しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は幹線道路から車で5分程脇に入った閑静な住宅地に立地し、玄関前の駐車場は地域の小学生の通学路となっており、近隣の住民が洗濯物を干しながら挨拶を交わし合う環境となっている。「認知症サポート相談窓口」を開設し、地域の人々から介護相談を受けるなど、地域の一人として役割を担っている。

管理者は職員教育の一環として、職員一人ひとりに目標を立てさせ、定期的に自己評価を行うほか、先輩職員が新人の職員を指導することで利用者への支援の振り返りと反省、再確認をすることができ、全職員が利用者支援の向上に結び付くよう取り組んでいる。

同一法人運営の併設する通所介護事業所と同じ食事を提供しており、厨房室で調理担当者が食事を作っていることから、職員は調理をしない時間を利用者一人ひとりの思いを重点に考え、誕生日には個別に希望を聴きながら外出や外食など、時間を有効に活用して支援をしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム独自の理念を掲げ、毎朝（申し送り時間に）理念の唱和に取り組みチームで共有している。また、職員個々の月間個人目標を掲げ同時に唱和し意識を高め実践に取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を掲げ、2階の事業所入り口エレベーター脇に掲示するとともに、管理者と職員は毎朝の申し送り時に理念を唱和して共有している。管理者は職員会議時に、日々の生活の中で職員と一緒に理念にそって支援ができているかをその都度確認しながら実践に結び付けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の一員として、自治会に加入し回覧板などから地域情報を収集している。これにより地域イベントへの参加機会設け交流を図っている。さらに、ホーム情報誌を毎月交付し回覧して頂き配信に努めている。（夏祭り時の休憩所として開放・植木の消毒や伐採の協力等・他）	事業所は自治会に加入し、利用者は職員と一緒に回覧板を回しているほか、事業所が毎月発行する広報誌「そよ風だより」を自治会長宅まで届け、地域住民へ回覧してもらい、事業所の実情や認知症の対応などを知らせることで事業所が地域の一員となるよう取り組んでいる。利用者は職員と一緒に自治会主催の夏祭りや盆踊りに参加するほか、地域にある神社の「御神楽」を見学するなど、日常的に地域の一員として交流している。近隣中学校から課外授業として35名程の中学生がゲームや催しを企画して事業所に来訪し、利用者と一緒に過ごすなど、利用者は日頃から地域住民と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月発行する情報誌に『認知症とその対応について』の内容を掲載し回覧版を利用し配信に努めています。また、『認知症サポート相談窓口』を設置し地域貢献に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加メンバーの皆様から率直な意見・評価・情報を幅広く頂いております。これにより、職員個々の意識も高まり、利用者様の生活の支援に活かされています。	運営推進会議は家族等の代表や市担当者、町内会長、町内副会長、民生委員、管理者、職員で2ヶ月に1回開催している。会議では利用者の生活の様子や運営状況の報告を行うとともに、課題などを話し合い、委員から出た意見や助言をサービスの質の向上に活かしている。委員から「災害時の避難場所までの経路を実際に体験した方が良いのではないか」との意見を受け、実際に利用者と職員と一緒に避難経路を確認するなど、サービスの向上に結び付けている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護福祉課担当者に直接訪問する確認内容や電話にて相談・助言を頂く等、連携は図れています。また、運営推進会議を通して状況や取組みを伝え、さらに結城市地域密着型サービス事業者連絡会に加盟し協力体制を整えています。	管理者は要介護更新認定の申請などで毎月市担当者を訪し、運営状況や空き状況を報告したり、介護保険制度の疑問点について相談するなど、日頃から協力関係を築いている。 生活保護担当の市職員は、定期的に事業所を来訪して生活保護の利用者の様子を見たり話を聴くなど、日頃から連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止対策委員会における定期的な会議・勉強会の実施により全職員が周知を図っています。また、2階へ通じる階段ドア施錠の制限があり1階へ移動したいと云う個人の意思を尊重する支援を目標に利用者様の『思い』の理解に努め日常的にエレベーターを利用して頂き共に行動をすることを務めております。	身体拘束を行わないことを重要事項説明書に明記するとともに、身体拘束排除宣言ポスターを玄関脇の廊下の壁に掲示している。 身体拘束対策委員会を設置し、定期的に身体拘束に該当する具体的な行為やその弊害を理解する勉強会を開催するとともに、身体拘束の状態になっていないかを確認し、身体拘束をしないケアに努めている。 帰宅願望の強い一部の利用者の不穏時に備え、2階からの階段入り口やエレベーターは施錠しているが、利用者が外に出たい場合は職員が付き添いながら支援し、管理者と職員は開錠に向け常時話し合っている。 施錠に関して、帰宅願望の強い利用者の家族等からは書面で同意を得ているが、他の利用者の家族等からは口頭で同意を得ており、書面で同意を得るまでには至っていない。	やむを得ず身体拘束となる出入り口の施錠に関しては、家族等から口頭での同意のみならず、書面で同意を得ることを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ざれることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止対策委員会において、職員への虐待についての意識アンケート調査や不適切なケアについて定期的な会議・勉強会を開催しております。これにより、全職員へ周知を図り未然に虐待を防ぐ事を努め、さらに虐待を見逃さないよう取り組んでおります。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性があると考えられる利用者様については情報を提供し活用出来るよう協力的に取り組んでおります。今後も権利擁護に関する研修の参加や勉強会を開催し職員の知識拡大に努めて参ります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・退去時においては契約書・重要事項説明書・預り金規程・個人情報・自己評価・その他書類について十分な説明を実施し手続きを図っております。また、制度改正時には同意書の交付などにより説明ご理解を頂けるよう取り組んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	率直な意見が頂ける様ご意見箱をホーム玄関に設置しております。また、家族会開催時にアンケート調査を実施し内容を精査、迅速に取り組み反映させていただいております。	管理者や職員は利用者と日々の会話から意見や要望を聴いているほか、家族等からは年1回の家族会や来訪時、遠方の家族等には電話で意見等を聴くように努めている。 家族等から「レンタルベッドを長期化しなくてはならない場合は、買取対応にはしてもらえないのか」との要望を受け、管理者は代表者と相談して買取も可能にするなど、家族等への負担を軽くする仕組みを運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会議を実施し充分な話し合いの場を設けております。また、会議以外においても気軽に意見や提案・相談・要望等を伺う時間を日常的に設け関係を築き業務に活かされております。	管理者は月1回の職員会議で職員の意見や提案を聴く機会を設けているほか、休憩時間にコミュニケーションを図るなど、日頃から何でも言い合える関係づくりに努めている。 職員から「入浴時に使用しているナイロンのタオルは利用者の皮膚を刺激するので、綿素材のタオルにしてはどうか」や「利用者の着用している洋服を全部毎日洗濯すると生地が傷むので、洗濯物を下着類と上着類とで洗濯する頻度を変えた方が良いのではないか」との提案を受け、管理者は入浴時のタオルを綿素材に変更したり、洗濯物によって分類して洗濯頻度を変えるなど、職員の意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日常的に個々の状況を把握し、定期的な面談を通して意識の確認・個人が抱える課題や他者との関係性・労働意欲の確認・その他様々な内容を傾聴し働きやすい環境の整備に取り組んでおります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月2回～3回の内部研修を年間計画に位置づけ知識の拡大・技術の向上に努めております。また、外部研修インフォメーションの情報を提供し参加を促しており、資格取得への意欲も高まる等、人材育成に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	結城市地域密着型サービス連絡協議会に加盟し他事業所との情報交換・共有に取り組んでおります。また、同系列のホームとの社内協議会を通して積極的な情報交換が実施され利用者様の支援・生活に活かされております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の情報収集に努め、自宅訪問時の接遇マナーに留意し、傾聴姿勢に努め信頼と安心が提供できるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時、ご家族様に対し受容的態度で理解に努め、ご家族様と共に本人を支える支援を提案させて頂き関係性を深める努力をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様・家族様にとって最善の方法は何かを一緒に考え情報を提供し、最優先すべき支援を提案させて頂いております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしの中の様々な場面、役割の中で（炊事・清掃・料理・洗濯園芸・木工・縫製買い物・その他知識や知恵等）利用者様より教えて頂き自然な関係性で暮らしを支え過しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、本人様の暮らしを記載した月間報告書を送付しております。些細な事柄にも着目し面会の頻度が少ない家族には面会依頼をお願いし共に支え合う意識が高まる様取り組んでおります。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に利用されていた美容・理容店の継続利用や知人・友人がいつでも訪れて頂けるよう面会時間を定めず来所して頂いております。また、馴染みの商店での買い物・個人の思い出の場所等、思いに応えるよう努めています	職員は利用者との日々の会話や家族等から話を聴き、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するよう努めている。 利用者の友人や親戚が来訪した際にはお茶を出して居心地よく過ごせるように努め、馴染みの人との関係が途切れないよう支援をしている。 職員は利用者が親戚宅に行きたい時や以前暮らしていた家を見に行けるよう同行しているほか、利用者が馴染みの店に電話で衣料品を注文して配達してもらったり、家族等の協力を得て馴染みの美容室に行くなど、これまで大切にしてきた人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の関係性は十分把握しており、職員の介入や座席への配慮・個人の希望等に留意しております。関係が築けない方が孤独と捉えることが無いよう十分に注意し、職員が寄り添うよう努めております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他市町村の特養の入所等により契約が終了している例が1件。遠方により継続的な関係を築けず疎遠になっております。将来において解約等におけるその後を意識しバックアップが出来るよう関係性を大切にしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの考え方や思いの把握に努め可能な限り応じるよう努めています。また、表現することや自身の意志を伝えることが困難な方に対し日々の行動や仕草・表情などを確認しながら支援に取り組んでいます。	管理者や職員は入居時のアセスメントから利用者の生活歴を把握しているほか、日々の関わりの中で会話や行動を観察しながら利用者の思いや意向の把握に努めている。 意思疎通が困難な利用者の場合は表情やしぐさから判断したり、家族等から情報を得ているほか、職員で話し合って利用者の思いを検討している。 把握した内容は「利用者申し送りノート」や「個人ファイル」に記載し、全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の相談・自宅訪問調査時において出来る限りの情報収集に努めています。また、本人様に関わるケアマネ・医師・訪問看護師・その他の方々の協力を頂き生活の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	表情や言動・行動や個人記録から確認出来る内容等により一人ひとりの状態を見極め、その時折々の有する力を活かして頂ける様支援に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の思いや家族の要望を確認させて頂きました、職員の意見等も反映したカンファレンス会議内容に取り組んでいます。具体的で達成出来る目標と支援内容を明確にし本人様の状態に応じた介護計画作成を心掛けております。	介護計画は利用者や家族等の意見や要望、医師や訪問看護師、利用者担当職員の意見を取り入れて作成するとともに、3ヶ月に1回モニタリングを実施して6ヶ月から1年で見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画書に沿った支援実践また、新たな気づき発見等を個別の介護記録に取り組んでおります。また、利用者様申し送りノート内容などからも情報を抽出し介護計画作成に反映されております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設事業所デイサービスにおいて様々なカルチャー教室・イベントを開催していることなどから希望により参加され充実した時間を提供させて頂いております。また、傾聴ボランティアや保育園児・中学生・高校生の来園等交流を深めて頂けるよう支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様の個々が求める暮らしが新聞販売店・乳製品訪問販売・馴染みの和菓子店やホームセンター・衣料用品店・消防・学校 他様々な資源により生活が支えられています。また、地域の馴染みの行事を収集し積極的に暮らしに取り入れ楽しむ機会を意図的に設けています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様と家族様の要望を重視し、かかりつけ医との継続的医療は可能な限り実践しています。やも得ず、ご家族様の希望により他医療機関を希望される場合は情報を提供し十分に納得頂けるよう努めております。	契約時に利用者や家族等に希望するかかりつけ医への受診が可能なことや協力医療機関の医師をかかりつけ医にできることを説明し、確認を得ている。 かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本とし、受診時には職員がバイタルサインなどの日々の記録を家族等に渡している。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療を支援するとともに、週1回医療連携体制を取っている訪問看護ステーションの看護師による健康管理を支援している。 受診結果は緊急時には電話で家族等に報告しているほか、毎月送付する事業所だよりと一緒に報告している。 受診結果は「利用者申し送りノート」や「個人ファイル」に記載し、全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護STとの医療連携体制を締結し週1回看護師が訪問されています。介護職員より相談・報告したい内容を記載し訪看時に確認をして頂きアドバイスを受けお一人おひとりの支援に活かせるよう取り組んでおります。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	過去2年間、該当する入院者はありません。が、そうした場合には定期的に様子を伺いその都度の病状の確認・退院の見込み等情報収集に努めて参ります。また、月1回は医療連携室へホームの情報活動を実施し関係が築けるよう努めて参ります。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	グループホームにおける重度化した場合の対応・看取り対応に関する指針の同意は既に取り交わしており、チームでターミナルケアを実践しております。今後も、ご家族様の要望を確認しつつ関係者と共に終末期ケアに向けた取り組みを実現したいと考えております。	契約時に重度化や終末期に向けた事業所の対応指針を説明し、利用者や家族等の同意を得ている。 1年半前に看取り介護を経験しているが、その後職員は重度化や終末期、看取り介護に向けた研修を受講するまでには至っていない。	事業所は利用者や家族等から看取り介護の要望がある場合は、看取り介護を支援することになっていることから、全職員に重度化や終末期及び看取り介護に向けた研修を実施することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの整備・定期的な勉強会など知識拡大・技術の習得に取り組んでおります。また、事故事例検討会議などを通して看護師指導のもと実践に備えて参ります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時における地域自治会緊急要請や近隣地域住民との協力体制は確立されております。また、災害時の緊急電話対応・避難経路・避難場所・消火器の設置場所・消火方法等職員全員が習得できるよう取り組んでおります。	避難訓練は消防署立ち合いのもと近隣住民の参加を得ながら年2回実施し、内1回は夜間想定での避難訓練を実施している。 避難訓練の実施記録を作成し、訓練後の良かった点や問題点、反省点、今後の課題を話し合って記録に残している。 災害に備えて水やビスケット、蕎麦、細麺、缶詰、白飯、レトルトカレー、飴などを備蓄し、備蓄品リストを作成して賞味期限などを管理している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の個性・特性に配慮しながら対応させて頂いております。尊厳を保つ為、各職員個人が自らを振り返り確認と反省から一人ひとりの目標を明確にし取り組んでおります。	管理者と職員は利用者の呼び方や言葉遣いに気を配り、利用者が言われたくないことを言わないように意識するなど、利用者一人ひとりの尊厳を大切に考えて支援をしている。 月1回の職員会議時に利用者や家族等に対する言葉遣いや接遇などを自己評価しながら確認し、プライバシーに配慮した対応に努めている。 個人情報に関する書類は事務室の鍵のかかる書棚に保管し、情報漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的な関わりの中で会話や行動から思いが導き出せるよう働きかけておりまた、自己表現が出来る関係や信頼は確立されております 今後も継続的に利用者様が表現出来る環境作りに努めて参ります。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の業務が優先にならないよう心掛け、ご本人のそれぞれの希望に出来る限り添えるよう考慮しております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みの衣料品や化粧品購入・美容院・美容室への外出支援等、一人ひとりのこだわりや嗜好を大切にした支援に取り組んでおります。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食の楽しみから、食材の切り込み・料理の取り分け・配膳・配茶・下膳・食器の洗浄等自ら参加して頂きご本人の持つ力が活かされております。また、作る楽しみも味わっていただけるよう企画をを実施しております。	同一法人運営の併設する通所介護事業所と同じ食事を提供する管理栄養士が、利用者が選択できるように2種類の献立を立て、調理職員が調理をしている。 利用者は職員と一緒に配膳車に食事を乗せて厨房からユニットまで運び、盛り付けや配膳、下膳、食器洗いなど、準備や後片付けをできる範囲で行っている。 食事介助が必要な利用者には職員が付き添っているが、職員は交代で職員休憩室で食事を摂っている。 利用者一人ひとりの誕生日には赤飯で祝ったり、行事時には特別食を提供しているほか、利用者の希望を聴きながら外食を取り入れるなど、食事が楽しみなものになるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量の記録にとどめ健康管理に努めております。病状や体調を考慮し、水分を意図的に進める支援や排泄の回数・毎月の体重測定や介護支援計画に位置付けるなど個々の支援を実行しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝、昼、夕の口腔ケアを実施しております。洗浄剤の使用や外出時の嗽また、入歯の不具合や歯痛が生じた際には訪問歯科診療等、本人様の状態に応じた対応に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限りお手洗いで排泄を促すため、排泄チェック表の記録確認や排泄状況を把握し個別誘導・声掛けにて支援に取り組んでおります。	職員は排泄チェック表から利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、タイミングを見計らってトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるよう支援をしている。 現在、おむつ使用の利用者は1名だけで、ほとんどの利用者は布パンツにパッドやリハビリパンツを使用し、職員が誘導してトイレで排泄ができるよう支援をしている。 夜間は一部の利用者の居室にポータブルトイレを配置し、トイレで排泄ができるよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘対策として毎日、乳製品を飲料していただいております。更に運動レクリエーションや腹部マッサージ・歩行練習等、薬剤に頼らない一人ひとりに応じた支援を心掛けています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日、入浴をして頂ける体制を整えております。気の合う仲間同士の入浴や沐浴剤を使用し香りや色を楽しまれております。また、誰もが1番に入浴出来る曜日を決める等、利用者様の気持ちに沿った取り組みを実践しております。	毎日の入浴を基本とし、利用者の状況や希望にそって入浴日や時間帯を変えたり、シャワー浴や足浴など、個々に応じた対応をしている。 入浴を嫌がる利用者には無理強いせず職員や時間帯を変えたり、「風呂に入ると痛いところが楽になるよ」など、利用者の興味のある話をしながらさりげなく風呂場へ誘導し、言葉かけに工夫をして入浴ができるよう支援をしている。 一つの浴室に個浴槽を二つ設置しており、利用者同士が仲良く入浴ができるほか、利用者が一人ずつ入浴する場合は浴槽の湯を交互に張ることで入浴の準備時間を短縮している。 入浴剤を使用して温泉気分を味わえるようにしたり、端午の節句や冬至には菖蒲湯や柚子湯にして季節感を取り入れたりして入浴が楽しみなものとなるよう支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の個々の身体状況や希望に応じて午睡の時間を確保しております。また、下肢のマッサージや足湯を提供させて頂いており、浮腫みや冷え対策に効果を発揮し心地良い睡眠が促せるよう努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様の既往症・現病から必要に応じて薬剤情報を確認するよう努めております。内服薬の増減量・新薬の投与における身体の変化、心理に及ぼす影響等、観察を怠らないよう努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが生活に楽しみを感じて頂けるよう本人様の意欲や力に応じてクラフト創作・フラワーアレンジメント・押し花・習字・パステルアート等、様々な挑戦をされており喜びや作る・出来る楽しさを提供させて頂いております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に個人の求めに応じて対応させていただいております。30年振りに会いたい人との再会支援や食べたい物を食べて頂く個別の外食等、意志を十分に伝える事が困難方々にも職員からの働きかけで取り組んでおります。	天気の良い日には利用者と職員で事業所の周辺を散歩して五感を刺激しているほか、事業所のテラスにテーブルと椅子を配置してお茶を飲むなど、利用者が気軽に外気にふれられるよう支援をしている。季節の花を見物する外出行事を年間行事計画に組み込むとともに、外食や買い物、ドライブなどを企画し、行事担当の職員が事前に訪問先のトイレや駐車場、外出時の外食店などの下見をし、利用者が四季の移り変わりを肌で感じ、気分転換ができるよう支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金を所持し使用目的もあり自己管理する利用者様、また現金使用希望時の同行にて使用するご利用者様さらに、所持しているだけで満足されるご利用者様等、個人個人の力に応じて支援させて頂いております。	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の協力・理解を得た上で本人様から自由に電話を掛けられる環境を整えていますまた、年賀状や暑中見舞い等、本人様に記して頂きご家族様と共に支え合う支援に努めております。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様と職員が製作する四季折々の手作り作品を展示しその他、花をいけたり音楽を流す等、目で見て心地よい空間作りに取り組んでおります。また、匂いや汚れに充分留意し、利用者様が快適に暮らせるように取り組んでおります。	居間の中央に気軽に腰をかけたり、横になれる一段高い畳のスペースを設けているほか、ソファを配置して利用者が寛げる環境となっている。脱衣場は浴室との温度差がないようエアコンで温度調節するとともに、服の着脱時の転倒防止や休憩に座る長椅子を配置するほか、浴槽に手摺を設置して利用者が安心して入浴ができるようにしている。廊下の壁には利用者と職員で折り紙で制作した紫陽花や花火などを飾り、季節感を取り入れているほか、文字を大きく書いた手作りカレンダーを掲示している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個人個人が好みの居場所があり、思い思いに過ごされています。畳コーナーの設置により自身の居場所が増したご利用者様もいる事などから今後も環境空間の工夫に取り組んで参ります。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様には自宅で使い慣れたものや愛用品を持参して頂けるよう説明させて頂いております。それに応えて頂けないケースも多くあり、個人の思いや好みを大切にしたいと考える為、入居後も継続的にご家族様への説明に努めています。	居室にはエアコンやカーテン、クローゼット、整理箆箆が備え付けられている。利用者は家族等と相談しながら、畳を敷いての和式やベッドを設置して洋式にしているほか、使い慣れた布団やベッド、テレビ、洋服、家族の写真など、思い思いの物品を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具や電化製品の配置に工夫し、整理整頓を心掛け危険の無い住環境を提供しております。	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 結城ケアセンターそよ風

作成日 平成26年12月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	やむを得ず身体拘束となる出入り口の施錠に関しては、家族等から口頭での同意のみならず、書面で同意を得ることを期待する	出入り口施錠(身体拘束)に関する同意書を作成しご家族様に同意を得る	出入り口の施錠(身体拘束)に関する同意書を作成しご家族様に書面にて同意を得る	3ヶ月
2	33	事業所は利用者や家族等から看取り介護の要望がある場合は、看取り介護を支援するにしていることから、全職員に重度化や終末期及び看取り介護に向けた研修を実施することを期待する	全職員に対して重度化や終末期及び看取り介護に向けた研修を実施する	重度化や終末期及び看取り介護に対して職員が不安に思っていることをアンケートを実施しそのことを踏まえた研修会を実施していく	3ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。